

NHO 近畿中央呼吸器センター（大阪府）

開催期間：2026年9月7日（月）～2026年9月18日（金）

講師人数：7名

参加者人数：119名



開催者の感想



手荒れが生じることで、洗い残しが増えることや、手指消毒剤の使用を控えてしまうことなど、手指衛生に影響する可能性について説明しました。その上で、「皮ふを健やかに保つことが、感染対策の第一歩につながる」という意識を持ってもらうことを目指しました。正しいハンドケアの方法を伝えるだけでなく、ご提供いただいた水分チェッカーで肌の状態を数値で確認し、ハンドケア後の変化を実感してもらうことで、正しい方法かつ継続的なハンドケアの必要性を具体的に感じてもらえました。さらに、サンプルを配布し、研修後もハンドケアを継続できるようなきっかけづくりを行いました。今回の研修を通して、手指衛生遵守率を高めるためには、職員が手の健康を保ち、無理なく手指衛生を継続できる環境を整えることも重要だと改めて感じました。

今後も、ハンドケアを手指衛生の一部として位置づけ、職員の感染対策につなげていきたいと思います。



受講者の感想



- ・自身の手肌の水分量を測定してもらい、数値化することで変化が分かり、楽しく取り組むことができました。
- ・「手指衛生のためにも、自分の手を大切にしてください」と言われたことに優しさを感じました。自分の手を守ることも感染対策につながるのだと感じました。
- ・寒くなる前にハンドケアについて学ぶことができて良かったです。今年の冬は健康な手を保ちながら手指衛生を頑張りたいと思いました。